

自治協ニュース

第2907号
発行者
八本松住民自治協議会
H30. 1. 20

福祉対策委員会を設立

福祉の現状を把握し課題を抽出 市の政策形成に繋ぐ

八本松住民自治協議会

八本松住民自治協議会は12月2、日八本松地域センターで、今後当該地域の福祉対策を総合的に進めてゆく組織として「八本松住民自治協議会福祉対策委員会」を関係者の賛同を得て設立した。

地域福祉については市の地域福祉計画に基づき行われてきたが、平成27年4月の介護保険制度の改正で、「要支援1、2」の高齢者が利用する通所介護や訪問介護が介護保険から

市の事業に移行されることとなった。このため市は昨年度から地域福祉のありかたや課題を整理し政策形成に結びつけるため「生活支援体制整備事業」(右下図に記載)に基づ

生活支援体制・地域ケア会議

政策形成

福祉課題の解決

生活支援体制整備
生活支援体制整備事業

住民視点による検討の場

第1層 全市的検討

第2層 圏域単位検討

第3層 自治協地域福祉対策委員会

第4層 地域福祉会(地区社協単位)

調査組織

専門的視点による検討の場

地域ケア推進会議

調査結果

地域福祉・方向性と課題

調査目的

- 1 地域福祉の現状把握
- 2 解決すべき課題抽出
- 3 地域福祉計画
- 4 政策形成へ反映

年頭の「あざむき」



土久岡 住民自治協議会会長

新年明けましておめでとうございます。

旧年中、地域の皆さまには当協議会の事業に温かいご支援

とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年(2018年)は今後5年先、10年先を見ずえるに

当たり、地域環境が大きく様変わりする時代を迎える初年度と受け止めています。当協議会も「安全

で安心な住みやすい地域づくり」をモットーに「防災」、「福祉」、「環境」の三本柱を基本計画の基軸として取組み、住民の皆さまが「生活しやすい」と言っていただけけるよう、役員一同全力で尽力して参る所存です。

どうか、今年が皆さま方にとって福運

き検討の場を設けるよう地域に求めています。

この度設立した

満ちた幸多き一年でありますようご祈念申し上げます。

本年も何とぞよろしくお願い致します。

平成30年(2018年) 元旦

八本松住民自治協議会会長

土久岡 章治

「福祉対策委員会」はその求めに応じた組織で、当自治協では昨年6月から地区社協代表者、民生児童委員、その他福祉関係者と協議を重ねてきた。

この日は31名中18名の委員の出席を得て組織が誕生した。

福祉対策委員会会長に就任した土久岡氏(自治協会長)は「地域で暮らす方々

がお互いに助け合い支え合っていく仕組みを通して日々暮ら

せる社会を構築するために行う福祉対策の「第一歩だ」と委員会設立の趣旨を説明。今年度の事業は、地域福祉の現状を把握し解決すべき課題を抽出する調査を地区社協を中心に民生児童委員、福祉関係者の協力と自治会の後方支援を受けて各地域(10カ所)で行うこととなった。

調査結果は2月中旬にまとめ(別に調査報告会を開催)生活支援体制整備事業の

調査結果は2月中旬にまとめ(別に調査報告会を開催)生活支援体制整備事業の

組織を通して市の政策形成に繋げることとなった。なお、この調査の実施結果に基づき、地区社協単位の「地域福祉会」(仮称)を今後組織化されることが計画されている。



委員会設立の趣旨を説明する土久岡会長(中央)

八本松 2地区の社協が県社協会長表彰

平成29年度広島県
社会福祉大会

下組地区社会福祉協議会と八本松南上地区社会福祉協議会



八本松下組地域サロン



八本松南上地区社会福祉協議会

重要性増す地区社協の役割

下組地区社会福祉協議会(会長 林出光晴 会員46名)と八本松南上地区社会福祉協議会(会長 藤原和雄 会員22名)は、11月8日、ホテル広島カーテンパレスで開催された平成29年度 広島県社会福祉大会において、広島県社会福祉協議会から「優良社会福祉協議会」として表彰された。

両社協とも平成9年の設立後、20年間の永きにわたり地域の社会福祉に貢献。特に、下組地区社協は高齢者層と若年層が混在する八本松最大の住宅地帯で、子どもたちへの声掛けや高齢者対象のサロンや給食サービス等幅広い活動を行ってきた。

また、八本松南上地区社協は八本松でも高齢者の多い地域で、高齢者を対象にしたユニークで楽しいサロン活動を続け、今では年間七百人以上の参加を得ている。今後、介護保険制度の改正で、地区社協を中心とする地域福祉の推進が求められており、他地区の社協も合わせ益々の発展が期待されている。

地域ピックス

新たな地域福祉ボランティア活動

「近所ホット推進員制度」開始

八本松南区自治会は昨年10月16日新たな地域福祉ボランティア活動「近所ホット推進員制度」の連絡会を行った。

この制度は地域住民の高齢化に対応するため、「支え合い、助け合い、安心して生活できる地域を目指す」を目的として、みんなで活動する「仕組み」で、この地域のコミュニティ連絡会で発案され決められたもの。

既に、制度に賛同し推進員になられた方は77名にのぼっている。

この日は、制度開始後初めての連絡会で推進員(33名参加)に登録された方への制度説明と福祉に係る情報交換が行われた。

信国自治会長は「この制度は、日常生活でさりげなく隣近所を気づかう緩やかな見守り活動で、

未だに防ぐため地域の有志による防災・防犯活動。今年は2日間子どもたち3名を含む延べ35名が2班に分かれ「火の用心」と注意喚起し町内を歩いた。パトロール終了後防犯灯や側溝落下防

年末特別警戒夜間パトロール

八本松みなみ地区
地区自治防犯会

八本松みなみ地区自治防犯会(会長 横井國興)は12月29日から2日間恒例の夜の巡回パトロールを実施した。平成26年から実施し今回は4年目。年末の慌ただしさによる犯罪・事故・火災の発生を

止柵やカーブミラーの設置等安全対策の気付きが報告された。



年末特別警戒夜間パトロール

八本松南区自治会

出され大変有意義な連絡会となり、この制度が地域福祉の原動力となる可能性が感じられた。

次回は1月に実施の予定。



情報交換する推進員